

2013/03/20

Endocrinology Working Group (糖尿病・代謝疾患) 現況報告

Endocrinology Working Group 議長

田嶋尚子 (東京慈恵会医科大学)

【2012 年度の経過報告】

- ・ 2012 年 2 月、日本内分泌学会と日本糖尿病学会は WHO ICD11 の改訂作業について、予算措置も含めて支援することで合意した。
- ・ 2012 年度より、内分泌 WG の Managing Editor として脇嘉代 (東大) および Managing Editor 補佐として分類学に詳しい篠原恵美子 (東大) を雇用した。
- ・ 内分泌疾患関連のヒエラルキー策定のために、内分泌学、糖尿病学、小児科学を専門とする委員からなる国内委員会を設置した。2013 年 1 月 18 日に第 1 回国内委員会を開催した。
- ・ 2013 年 2 月 6, 7 日に第 5 回 Face-to-Face Meeting of the Internal Medicine TAG, WHO for ICD Revision が、国連大学 5 階会議室で開催された。内分泌 WG からは、島津章、脇嘉代、田嶋尚子が出席した。

【担当分野】

- ・ WHO ICD-10 Chapter 4 : Endocrinology, nutritional and metabolic disease のうち、担当として指定されたのは E10-14, E15-16 (Diabetes, and Other disorders), E40-46, E50-64 (Nutrition), E65-68 (Obesity and other hyperalimentation), E70-90 (Disorders of amino-acid or proteins metabolism)であった。
- ・ その後 E40-46, E50-64 は新たに WG が設置された。
- ・ E70-90 は一部を除き assigned TAG が小児科 TAG に移行するが、内分泌 WG は作業の大半を終えているので、このまま協力することになった。
- ・ 定義の記載は原則としてヒエラルキーのレベル 3 までとし、各項目 200-300 字にまとめることとなった。

【作業内容】

- ・ 担当分野について新たなヒエラルキーの作成が終了した。期日の 3 月末日までに WHO による iCAT への入力終了する予定である。定義の記載もほぼ終了している。
- ・ WHO に以下の reviewer を推薦する予定である。
PM Stewart, MD (UK), John P. Bilezikian. M.D (USA), Biverly MK Biller, MD (USA),
Edwin Gale, MB, BCir(Cantab), FRCP (UK), Ulf Smith, MD, PhD (Sweden),
Dorothy J. Becker, MBBCh (USA),

以上